

道経連通信

臨時号

発行所／北海道経済連合会

TEL:011-221-6166 (代表) / FAX:011-221-3608

発行人／菅原 光宏 全 2 頁

編集／猪狩 裕基、若松 幸絵

2018年9月11日号 (臨時号)

ホームページ <http://www.dokeiren.gr.jp/>

【緊急連絡】現在の電力需給状況と、節電の協力をお願い

このたびの平成30年北海道胆振東部地震の被害に遭われた会員各位に、心よりお見舞い申しあげます。一日も早い復旧と、会員各位の職員、家族の皆様のご健康を心よりお祈り申しあげます。

昨日9月10日、経済産業省資源エネルギー庁、北海道経済産業局および北海道の主催により、平成30年度第2回北海道地域電力需給連絡会が開催されました。

【電力需給状況】

北海道電力では、供給力の確保に向けあらゆる対策を進め供給力の積み上げを行い、停電戸数は大幅に縮小しています。

しかしながら、9月10日以降さらに増加する需要に対し、現状の供給力では10%程度が不足し、厳しい需給状況が継続する見込みです。

このため、計画停電を実施せざるを得ない状況となった場合に備え、今後計画停電の流れや時間帯などの基本的な考え方が取り纏められ公表される予定ですが、計画停電を何としても回避するため、平常時よりも2割の節電を目指すよう、国からの要請がありました。

【節電の協力をお願い】

9月の平日、電力需要が増加するのは**8:30~20:30 (節電コア時間帯)**であり、家庭・業務・産業の各部門におかれては、**この時間帯において平常時よりも20%の節電**を目指すことをお願いします。

家庭や業務部門の消費電力量では、照明の占める割合が最大であることから、照明の間引きや消灯の徹底などをお願いします。

産業部門（製造業等）では、照明の節電や、**節電コア時間帯**の稼働を他の時間帯にシフトすることによる電力ピーク抑制等の組み合わせにより、可能な限りの取組みをお願いします。また、自家発電機保有企業におかれましては、最大限活用いただくようお願いします。

具体的には、以下をご参照ください。

○「北海道の皆様への節電のお願い」（資源エネルギー庁）

節電の基礎知識、東日本大震災時の節電取組事例、分野別の取組みのお願い等について

<http://www.enecho.meti.go.jp/category/others/setsuden/pdf/onegai.pdf>

○「平成30年北海道胆振東部地震に関する情報」（北海道庁）

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tkk/jishin.htm>

○「節電のお願い」（北海道電力）

<http://www.hepco.co.jp/index.html>

【緊急連絡】 会議の中止について

10月2日（火）に予定しておりました、「経団連・道経連 第66回 北海道経済懇談会」は、中止とさせていただきます。

既に懇親パーティー会費をお支払いの会員の方には、会費をご返金いたします。

ご返金方法等につきましては、後ほど当会からご連絡いたします。

担当： 袖川、猪狩（いがり）

電話： 011-221-6166

FAX： 011-221-3608